

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて 区の魅力を発信！ブランディング戦略を本格実施 ブランドコンセプト・ロゴマークを活用し国内外へPR！

新たな取り組み

事業経費

2,006万円

◆事業内容

平成27年度中に策定される「江東区ブランディング戦略」に基づき、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、区民の参加意識や気運を盛り上げるイベントやグッズの開発、国内外に向けた戦略的な情報発信等、江東区のブランド化に向けたさまざまな事業を実施します。（「江東区東京オリンピック・パラリンピック基金」の活用）

◆目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国内外に区の魅力を積極的・戦略的に発信することで、区民の気運醸成と区外の方へのPRを推進し、区のブランド化を図ります。

◆ブランドコンセプト（区の魅力や強みを言葉でわかりやすく表現したもの）

スポーツ アンド サポート
「SPORTS & SUPPORTS KOTO City in TOKYO スポーツと人情が熱いまち 江東区」

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、全区市町村で最も多くの大会会場が整備(*)されるなど、充実したスポーツ環境と、伝統的に受け継がれてきた下町人情を、区の魅力として積極的にPRしていきます。

※区内の競技会場配置 オリンピック:9競技・9会場、パラリンピック:7競技・6会場

◆ロゴマーク

ブランドコンセプトに基づくロゴマーク募集は、全国各地から700件を超える応募があり、現在「江東区ブランディング戦略検討委員会(*)」で選定中です。

※江東区ブランディング戦略検討委員会:学識経験者や区の産業団体・企業の委員、区職員で構成。

◆ブランディング戦略の主な取り組み

年度	活動内容
平成27年度	平成27年11月 ブランドコンセプトの策定 平成28年3月 ロゴマークの発表(区報3月21日号で発表予定) 江東区ブランディング戦略の策定
平成28年度 (予定)	決定したブランドコンセプトやロゴマークを活用し、国内外へPR ○ロゴマーク入りピンバッジ等のPRグッズの開発・配布 ○オリンピック・パラリンピック関連イベントや区民まつり等でのPR活動 ○区の魅力を国内外に発信するためのPR動画制作 など

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：企画課
窓口：4階1番

電話：3647-9168
内線：2116

「誰もが安心して利用できる駅施設」を目指して
駅ホームの内方線付き点状ブロック整備費の一部を助成
 鉄道駅ホームからの転落を防止！

新たな取り組み

事業経費

1,583万円

◆事業内容

視覚障害者のホーム転落防止対策として、一日の利用者1万人以上の駅に内方線付き点状ブロック(※)を整備しようとする鉄道事業者に対して、区が整備費の一部を助成します。

※内方線付き点状ブロック：注意喚起・警告を促す点状突起に、安全なホーム内側を示す1本の線状突起が付いたブロック

◆目的

鉄道駅ホームにおける視覚障害者の転落を防止することで、移動の円滑化を図り、人に優しいまちづくりを推進します。

◆特色・効果

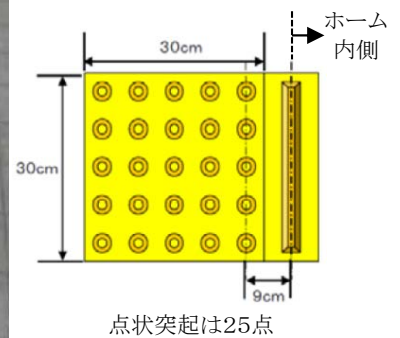
- 内方線付き点状ブロックを設置することで、視覚障害者の方もホームの内側と外側を区別できるようになります。
- 今回の整備により、区内にある一日の利用者1万人以上のすべての駅において、内方線付き点状ブロック、またはホームドアによる転落防止対策が図られます。

◆スケジュール

平成28年4月からの1年間

◆実施場所

路線名	駅名
りんかい線	東京テレポート駅
JR京葉線	潮見駅
東武亀戸線	亀戸駅



内方線付き点状ブロック

◆背景

国の検討会「ホームドアの整備促進等に関する検討会」では、①一日の利用者1万人以上の駅は、内方線付き点状ブロック等の整備を可能な限り速やかに実施、②一日の利用者10万人以上の駅は、ホームドアまたは内方線付き点状ブロックの整備を優先して実施するよう努める、としています。

長期計画の該当項目：施策30 ユニバーサルデザインのまちづくり

担当課：交通対策課
 窓口：防災センター2階18番

電話：3647-4784
 内線：6492